

委員会視察記録

委員会名	建設委員会
期 間	令和7年7月22日～23日
参加者	委員長 西原 明美 副委員長 小沼 秀朗 副委員長 田中 照彦 委員 宮沢 正美 委員 杉山 盛雄 委員 相坂 摂治 委員 河原崎 聖 委員 四本 康久 委員 伊藤 和子
視察先	1 御前崎港（御前崎市） 2 太田川（磐田市） 3 敷地川（磐田市） 4 三遠南信自動車道 鳳来峡 I C 付近（愛知県新城市） 5 渡ヶ島禿石急傾斜地崩壊危険区域（浜松市天竜区） 6 馬込川水門（浜松市中央区）

視察の概要

7月22日（火）

■ 御前崎港

<概要>

昭和50年に重要港湾に指定された御前崎港は、県中西部の物流・産業における海の玄関口である。平成22年に新規の直轄港湾整備事業着手対象とする港湾に選定され、国と県が港の老朽化対策、地震・津波対策事業を実施している。

港は、西埠頭、中央埠頭、東埠頭、マリパーク御前崎に分かれている。西埠頭は、大型コンテナ船や大型国際クルーズ船の入港が可能であり、県内唯一の完成自動車の輸出拠点としてモータープールや自動車運搬船が2隻同時着岸できる1・2号岸壁があり、大型コンテナ船が着岸する10号岸壁にはコンテナ16列5段積み対応のガントリークレーンがある。



令和7年1月にバイオマス発電事業が営業運転を開始し、木質ペレット等の燃料を海外から輸入している。令和6年度に脱炭素化の実現に向け「御前崎港港湾脱炭素推進計画」を策定した。

津波対策として、港近くに牧之原市が津波避難タワーを整備し、御前崎港管理事務所も津波避難所に指定されている。港内作業員の避難用救命艇が5隻あり、港内の各民間施設でも津波対策を講じている。

<主な質疑応答>

Q トランプ関税は輸出に大きな影響を与えているのか。

A 輸出金額が多い完成自動車の輸出先はヨーロッパなので、影響は少ない。

Q 港内に民間事業者の建物があるが、土地は貸し付けしているのか。

A 貸し付けして占用料を徴収している土地もあれば、モータープールやバイ

オマス発電所の土地など民間に売却している土地もある。

■ 太田川

<概要>

太田川は森町に源を発し、中遠流域を流下して遠州灘に注ぐ、流域面積 488 km²幹線流路延長 44km の二級河川である。

昭和 49 年の七夕豪雨では 4 か所で破堤し、令和 4 年の台風 15 号では内水氾濫や堤防越水により浸水被害が出ている。

太田川水系河川整備計画に基づき、太田川ダムの整備や河道掘削及び引堤等の河川改修が実施されている。太田川（下流工区）では、洪水時の水位を低減し、流域の内水被害軽減を図るため、河口から二瀬西橋までの約 4 km で河道掘削を行っている。5 年に 1 度の降雨規模への対応は完了し、現在は 10 年に 1 度の降雨規模への対応を行っている。

現在、「防災・減災・国土強靱化のための 5 か年加速化対策」で進めている水陸両用ブルドーザを活用し河道掘削を行っている。水陸両用ブルドーザは無線で操作することができ、水中で掘削し集土もできるため効率的に作業でき



<主な質疑応答>

Q 水陸両用ブルドーザの導入メリットは何か。

A 経済性、安全性、作業効率の面でメリットがある。水陸両用ブルドーザが最短距離で作業できるように工程を考えている。また、この辺は河口なので砂が多く、災害時に工事用の台船が逃げられない可能性もあるが、水陸両用ブルドーザなら自力避難ができる。

Q 河川管理のために下流部の河川改良が大切なことはわかるが、上流・中流の住民も河川改良工事を希望している。どのように考えているか。

A 下流の工事により水位が下がれば上流の水は流れるので、計画的に下流の工事を進めることが大事だと考えている。同時に下流以外の地区でも総務省所管の起債事業を活用し、緊急自然災害防止対策事業や国土強靱化対策事業を行っている。

■ 敷地川

<概要>

敷地川では、令和 4 年 9 月の台風 15 号及び令和 5 年 6 月の台風 2 号の影響により、八十田橋から稗田橋の間に二度堤防が決壊するなど甚大な被害が発生した。

通常の災害復旧は被災前の形に復旧する「原型復旧」が原則であるが、再度の川の氾濫を防ぐため、川幅を広げる等の改良を行う「改良復旧事業」を行っている。

住民の方に復旧状況や河川改修事業をしっかりと御理解していただけるように、丁寧に住民説明会を行い、議事録は掲示板等で公開している。被災区間の稗田橋から家田橋までの約 400m については、護岸及び堤防の復旧は完了して



いる。

令和6年に敷地川全体を対象に「水災害対策プラン」を作成し、決壊箇所より下流の区間についても流下能力向上を図るため、大規模特定河川事業（補助事業）により護岸整備や河道掘削等を実施し、流域全体で治水安全度向上に努めている。上流側の河道を広げると下流側に影響があるので、上流側（磐田市工区）だけでなく、下流側（袋井市工区）の護岸整備や河道掘削も併せて改修していく。

<主な質疑応答>

Q 以前のように川の流れを真つすぐにする考えはあるのか。

A 周辺地域は既に開発された地域なので、川の流れを変えるのは難しい。まずは、護岸整備や河道掘削等の河川改修で対応している。

Q 堤防の緑地部分の傾斜がきついので、地元の人では管理が難しそうである。今後どのように緑地部分を管理するのか。

A 袋井土木事務所で業者を手配し、管理する。

7月23日（水）

■ 三遠南信自動車道路（鳳来峡 I C 付近）

<概要>

三遠南信自動車道は、長野県飯田市から静岡県浜松市を結ぶ延長約 100 km の高規格幹線道路であり、中央自動車道、新東名高速道路と連絡し三河、遠州、南信州の連携強化、開発、発展に寄与する重要な路線である。



現在長野県と浜松市による道路改良（現道改良区間）を含めると約 6 割が開通済みで、今年度中に東栄 I C ～鳳来峡 I C 間が開通する予定である。

東栄 I C ～鳳来峡 I C 区間には、トンネルが 4 本あり全体の約 4 割を占め、また約 2 割が橋梁で構造物が多い。中央構造線と平行している部分はあるが、比較的硬いところもあり、安全性を考慮しながら整備している。

<主な質疑応答>

Q 三遠南信自動車道が全線開通するのはいつか。

A 全線事業化しているが、開通時期は未定である。水窪佐久間道路は全体の 9 割がトンネルになる予定である。

Q 直線道路の途中で上ったり下ったり勾配があるのはなぜか。

A トンネルの入り口の高さや橋梁の高さが関係している。橋梁が高くなると橋脚等の長さも構造も変わりコストが高くなる。またトンネル入り口を低くするとトンネル部分が長くなりコストが高くなる。全体のコストが安くなるように、全体のバランスを見ながら道路を造っている。

■ 渡ヶ島禿石急傾斜地崩壊危険区域

<概要>

渡ヶ島禿石急傾斜地崩壊危険区域は、平成 27 年度に急傾斜地崩壊危険区域に指定され、令和元年度に対策工事（重力式擁壁等）が完了した。

令和6年8月の台風10号により局所的に短時間で大量の雨が降ったため、高さ50m幅40mにわたり斜面崩壊が発生した。4世帯の住民は避難し、急傾斜地崩壊防止施設（擁壁・落石防護柵）により崩落土砂がせき止められたため、人的・人家被害はなかった。

災害発生後、災害協定を結んでいる業者が応急対策を実施し、倒木や崩土を除去し、大型土のうを設置した。また浜松土木事務所職員が1日3回クラック幅を観測した。

令和6年9月6日から遠隔監視・警報システムの運用を開始し、県、浜松市、住民、関係者による緊急避難態勢を整備した。令和6年11月に災害査定を受け、令和6年12月から斜面对策として法枠アンカー施工が開始され、令和7年3月末に上段の法枠アンカーが完了し、斜面上部に住む住民は令和7年4月1日に帰還した。



現在、中段斜面を施工中で、令和7年度内に全工事完了予定である。

<主な質疑応答>

Q 特に多い雨量ではなかったのに、なぜ崩落したのか。

A この辺は、破碎帯で、弱い地盤である。

Q なぜ大きな防護柵より頑丈な防護壁を造らないのか。

A 斜面の高さ等による。国の基準に従って防護柵の高さ等も決めている。

■ 馬込川水門

<概要>

浜松市沿岸域17.5kmでは、平成24年度から津波対策事業として防潮堤の整備を進め、令和2年3月に防潮堤が竣工した。

防潮堤と馬込川の水門を整備することにより、レベル2津波による馬込川周辺における浸水範囲を宅地の浸水面積で89%、浸水深2m以上の範囲を98%低減できるため、令和3年度から馬込川水門の建設に着手している。令和7年6月に水門の本体工が完成し、令和9年度にすべての工事が完成する予定である。



水門には、波の水圧に耐え水の流れを制御するための扉体（ひたい）と呼ばれる鋼製ゲートが3つあり、その扉体を支え津波の力を安全に受け止める高さ20mの堰柱が4基ある。また堰柱と堰柱の間に架かるカーテンウォールが扉体と一体になってレベル1の津波を防ぐ。また、レベル2の津波に対し水門を支えるため、基礎の部分には巨大な235本の鋼管杭が地中に打ち込まれている。

完成後、馬込川水門の管理棟と浜松土木事務所は光ファイバーケーブルで結ばれ、遠隔操作や監視を行う。水門は手動操作により閉鎖できるが、津波が発生した際は人命を守るため水門の自動閉鎖又は遠隔操作による閉鎖を原則としている。水門に設置された地震計が震度5強程度の地震を検知した場合やJ

アラートで大津波警報等を受信した場合は水門が自動閉鎖する。

水門のデザインは静岡文化芸術大学が監修し、P R看板は江之島高校美術部がデザインしている。

馬込川水門の概要や進捗状況はユーチューブチャンネルでの情報発信を行っており、また水門工事の進捗状況や減災効果を地元の方に知ってもらうため、年間約1,200人の視察を受け入れている。

<主な質疑応答>

Q 水門を閉じると川の流れをせき止めてしまうのか。

A 津波を防ぐ扉体には小窓が付いていて、川からの水は流す構造になっている。

Q 地震計やJアラートにより水門が自動閉鎖することだが、外国等の遠い場所で発生した津波に対しては、どう対応するのか。

A 浜松土木事務所で職員が水門を遠隔操作又はJアラートにより水門が自動閉鎖する。